

FIGU-Landesgruppe Japan



フィグ・ヤーパン通信

第 45 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.45

発行日 2011年1月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も読者の皆様にとりまして、実り多い一年となりますよう、祈念いたします。

フィグ・ヤーパンでは、読者の皆様のご支援をいただきながら、これまで日本のミッションの基本となる翻訳出版を中心とした活動を続けて参りました。昨年は『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(5)』を出版し、10巻に及ぶ原書のコンタクト記録1巻分を出版することができました。本書は、歴史的なコンタクトが、どのような目的で、どのようにして始められたのか、コンタクトの証拠資料となる鮮明なUFO写真撮影の背景等について克明に記されたドキュメンタリーでもあります。

また昨年は、ビリー・マイヤーが高次の霊形態からのインスピレーションを受けて書き下ろした『アラハト・アテルサータ』を出版することができました。本書は、霊の教えの基本的な内容が記された、入門書としても最適な内容になっています。

さらに、以前徳間書店から出版され、絶版となっていた『宇宙の深遠より—プレアデス/プレヤール人とのコンタクト』を、原書にしたがってより忠実に翻訳し直した新刊書として、改めて出版しました。本書には、プレアデス/プレヤール人の母星での生活の様子や、地球の人類の起源、近未来に起こる可能性のある出来事等について記されています。以上の3冊は、翻訳、校正、版下作成の出版にかかわる主要な工程について、すべてフィグ・ヤーパンとボランティアスタッフによって作業が行われ、水瓶座

時代出版から出版されています。

以上に加えて、ビリー・マイヤーの生涯で最も重要な著作とされている、『真理の杯』の翻訳についても、翻訳者と原著者との綿密なやりとりを行う中で、順調に作業が進められています。本書については、著作者ビリー・マイヤーの健康状態等の事情によって、執筆が前倒しで行われたものです。ドイツ語版原書は、FIGUスイスのホームページを通じて、すでに公表されており、だれでも原書のすべての内容を閲覧することが可能になっています。フィグ・ヤーパンでは、今年以降、『真理の杯』の翻訳暫定版を、本誌『フィグ・ヤーパン通信』等を通じて順次公表していく予定です。なお、FIGUスイスからの助言によって、今後は『真理の杯』の翻訳作業を優先的にいき、余力に応じて他の書籍類についての翻訳出版を進めることとしています。

本年は、フィグ・ヤーパンが発足してから20周年となります。これからの10年は、これまで同様に翻訳出版活動を精力的に続けていくと同時に、ミッションを通じての出会いや読者の皆様との絆を醸成する機会の創出にも努力していきたいと思いません。フィグ・ヤーパンのスタッフと直接対話することができる読者訪問の活性化や、6月には恒例となりました全国読者集会の開催も予定しています。引き続きフィグ・ヤーパンの活動をご支援下さいますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 元旦

フィグ・ヤーパン一同

『真理の杯（暫定訳）』

第10章

1) あらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告を熟慮しなさい。あなた方がそれらを遵守して良い人生を送るように。

2) これはあなた方に英知に満ちた言葉をもたらす真の預言者の教えである。

3) 自分たちのただ中から預言者が真理を告げ、あなた方を戒め（警告し）、そしてまたあなた方に喜ばしいメッセージを告知することが、あなた方には不可思議に思える。だが、あなた方は独りよがり（尊大）になって、他のあなた方と等しい者（同胞）より多くの財と富を持っているかもしれないとか、高位（官職）にあるとかという理由で、自分の方が重要な意味（地位）を占めると思い込んで（思っ）てはならない。真の預言者をあなた方と等しい者（人間）ではない者のように、いかさま師か呪術師（魔術師）とみなしてはならない。真の預言者が真理の名においてあなた方に教えることを学びなさい。あなた方がその教えを遵守して順調に行くように。

4) 実に、あなた方はあらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告から生まれ出たのであり、それはあなた方の現存（実在）の最初にあなた方を靈感（理念）として生存（生命）にもたらした。それはあらゆる英知の源泉（創造）として、太古（原初）に膨大な（無限の）空間と、すべての天空（宇宙）と、すべての地球（世界／惑星）と、すべての天空の光（星辰など）を創り出し、そして全体（全部）を統御（指導）するために法則と勧告を創り出した。

5) あなた方はあらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告の靈感（理念）から生まれ出たのであり、その息吹（ふか霊／か霊形態）によって賦活されている。それゆえあなた方はあらゆる英知の源泉（創造）そのもののごく小さい部分であり、永遠の終わりに再び英知の源泉（創造）へと帰るであろう。この約定（約束）は真実（真理に忠実）である。まことに、あらゆる

る英知の源泉（創造）の法則と勧告は太古（起源）にすべての生命、すべての現存（実在）、あらゆる生物種（生命形態）、そして存在する一切を生み出した。あらゆる英知の源泉（創造）は出現（生成）と衰退（消滅＝生成と消滅）の法則を創り出し、それによってすべてのものを繰り返しよみがえらせる。生命が再覚醒（再生）において持続（継続）するように。

6) あらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告によって太陽は明るく輝く光を放ち、月は微光を放つ。あらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告によって太陽と月と天空の光（星辰）はそれぞれの通路（軌道）を持っており、それによってあなた方は時を計算し、風向き（天空の方向）を決めることができる。そしてこれらすべてはまさしくあらゆる英知の源泉（創造）の法則と勧告によって生み出され、あなた方に印（方向づけ）として与えられている。あなた方がそこから知識を形成できるように。

7) 実に、昼と夜の交替のうちに、根源力（創造）の法則と勧告により天空（宇宙）と地球（世界／惑星）で生み出された一切のうちに、あらゆる英知の源泉（創造）の現存の印（証拠）があなた方のためにある。実際、あなた方はそれらを把握（認識）して正しく解釈しさえすればよいのである。

8) しかし、根源力（創造）によって与えられた一切のうちにある印（証拠）を進んであなた方の知識に活用しようとせず、あなた方は単にこの世の生に十分または中途半端に（ほどほどに）満足し、印（証拠）をまったく心に留めないことで安心するならば、それは実際にあなた方にとって良くないことである。

9) 根源力（創造）の法則と勧告の印（証拠）に心を留めないならば、あなた方はそのために自分の中に真の愛と自由を、また平和と和合（調和）を創り出さないだろう。あなた方が手に入れるものと言えば非情と不和、不自由（隷属）と不合（不調和）でしかないからである。

10) しかしながら、真理と根源力(創造)の法則と勧告を知って(意識して)善行をなす別の者は、その真理の知識のゆえに公正(正義)と誠実(良心的であること)において正当な者(責任感のある者)として教導(指導)されている。彼らの内を歓喜と幸福と喜びの、そしてまた内面の平和と愛、自由と和合(調和)の川が流れている。

11) 彼らの思念は根源力(創造)の法則と勧告と生命を敬い、その挨拶はつねに「英知に包まれた平和」であり、その感謝はあらゆる英知の源泉(創造)に寄せられる。

12) あなた方の中でありとあらゆる災厄や害悪を速める者は、裕福になることを速めたがる者と同じく、寿命が無意味に過ぎていく。なぜかと言えば、あなた方は実現することのない希望を絶えず抱いて生存(人生)を送っているからである。それは、あなた方が目標なく道に迷い、眩惑げんわくされて真の人生も、その効用(成果)と利点も見ないからである。

13) あなた方の中で神々と偶像の信者である者は、不幸に見舞われるとそれらにひざまずいて祈願する。しかも横になろうと、立とうと、座ろうとそうする。だが、実際には神々や偶像は虚構ねつぞう(捏造)にすぎないから、あなた方の不幸を取り除くことができない。そのためあなた方は途方にくれて自分の道を進まなければならない。まるで神々や偶像に呼びかけ、自分を見舞った災厄から救い出してくれるように頼んだことなど一度もないかのように。

14) 実に、神々や偶像に対する信仰(憶測)においてあなた方は不埒ふらちを働き(暴力的になり)、戦(戦争)で他の一族(家族)や、集団(部族)や民族を滅ぼす。そのときあなた方は猛り狂って火を放ち、災いを広め、どんな言語道断りょうがも凌駕する破壊を招く。

15) 実に、あなた方の世界においてもすべてのあなた方と等しい者(人類)の間に自由と平和を保つべきであると熟慮しなさい。いかなる根源力(創造)の法則もあなた方に戦(戦争)をすることを要求(命令)せず、またいかなる根源力(創造)の勧告によっ

ても殺すことは要求(推奨)されていないからである。それでも戦(戦争)をするならば、あなた方はあらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告に反して行動することになる。あなた方が墮落から、つまり生命に関わる苦境(正当防衛)ではなく殺す(殺害する)場合も同様である。

16) あなた方が外観(自然)または他の事物のうちに根源力(創造)の法則と勧告の明らかな印(証拠)を認識して解釈する術を心得ているならば、それらを不埒にも(真理に反して)自分たちの偽りのために変えようとしてはならない。なぜならあなた方には、すべての英知の源泉(創造)の法則と勧告に反して事物を変えようとする権能がないからである。にもかかわらずそうするならば、あなた方が自分自身に大きな損害を加えることになったとしても驚いてはならない。根源力(創造)の法則と勧告によって明らかとなる(認識できる)ものにのみ従いなさい。さもないとあなた方は本当に害悪や災厄や大きな損害を被るからである。

17) もし真まことの真理があらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告の真の真理でなかったならば、それは預言者によってあなた方に述べられることも、その他の形で告げられることもないだろう。実際、預言者はこの人生の前に別のあなた方と等しい者(他の人格)としてあなた方の間であなた方と等しい者の代(生涯)を生き、預言者の教えをあなた方に教えたのである。それでもあなた方はついに会得しようとはしないのか?

18) あらゆる英知の源泉(創造)およびその法則と勧告に反する嘘や中傷ひぼう(誹謗)を虚構(捏造)し、それらの印(証拠)を嘘として扱うのは不道德であると熟慮しなさい。実に、そのようなことをする者は真理に対して罪を犯す者であり、けっして順調に行くことはないだろう。

19) あなた方にとって害にも益にもなりようのないもの、たとえば神々の僕や偶像の僕、自分を神々や偶像の使いもしくは受任者(代理人)に祭り上げる者、あるいは神々や偶像そのものに祭り上げる者を

崇拜してはならない。実に、あなた方がそのようなことをするならば、何もかも真理に反する嘘と誹謗であり、あなた方はそれによって自分自身や、あなた方と等しい者(人間)や、あなた方の神々や偶像を、あらゆる英知(創造)の根源の法則と勧告と同列に扱うのである。

20) 実に、太古(原初)においてすべてのあなた方と等しい者(人類)はあなた方の世界の全範囲で(世界中)いろいろな血(人種)を持った唯一の民族であった。しかしそれから彼ら是对立して、互いに戦い(交戦し)はじめた。

21) そして彼らは多くの民族に分かれて神々や偶像を虚構して、自らの上に据えて崇拜および祈願した。それはあなた方の時代(今日)まで続いており、あなた方はいまなお神々や偶像を崇拜して、あらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告の真理と自分自身を冒流ぼうりゅうしている。

22) あなた方と等しい者(人間)が不幸に見舞われたとき、自分の戒め(良心)をなだめ、あなた方と等しい者(同胞)の前で輝く(目立つ)ためだけに喜捨(施し)を与えるならば、彼らに偽りの慈悲(人間性)を味わわせることになる。その一方であなた方は根源力(創造)の法則と勧告の印(証拠)に対して襲撃を企て、すべての正しいことに、愛と平和、自由と和合(調和)、そしてまたすべての尊厳と畏怖(敬意)にも違反するのである。

23) 実に、真理のみが人生の偉大な価値であり、根源力(創造)の法則と勧告のみがあなた方を(あなた方の発明家の精神により)陸上を移動し、海を渡り、鳥のように空中を飛べるようにするのである。だが、実際あなた方はそれに対して感謝することはない。

24) あなた方はあらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告によって与えられたすべてに感謝しない。あなた方はまた、根源力(創造)の法則と勧告によって苦境や不安、悲惨や危険から救い出されても感謝しない。あなた方が知っているのは感謝ではなく暴力(テロ)のみであり、それを不正にもあなた方と

等しい者(人間)とあなた方の世界に加える。だが実際にはあなた方の全暴力行為は、常にあなた方自身にのみ向けられているのである。実に、あなた方はこの世で人生の素晴らしい恵みを享受できるよう、正当な者(責任感のある者)、誠実な者(良心的な者)であるべきだ。だが、その代わりにあなた方は至るところで災厄を引き起こし、自分で生じさせた損害を享受するばかりである。

25) あなた方の地上の生命は、雲から降り落ちる水(雨)のごときのものである。地球の土地や農産物と混ざり、あなた方と等しい者(人間)とあなた方の家畜やすべて動物はそれらを栄養にする。しかし地球が装身具を身に付け(花盛りとなり)、美しく磨かれ、そしてあなた方がみな地球に対する偉力を持っていると思ひ込む(信じる)と、不当(無責任)で不誠実な(良心的でない)支配者がやって来て、まるで前日には何も存続していなかったかのように、すべてをなぎ倒された畑に変える(戦争をして破壊する)。実に、これは比喩(比較)としての印(証拠)であり、あなた方はそれについて考えを巡らすべきである。

26) 預言者の教えに耳を貸しなさい。彼らから平和を学び、正しい小径を見いだすように。

27) あなた方が平和と自由、そしてまた愛と均斉(調和)のために善事をなすならば、それに対して最良の報いとさらに多くの繁栄(祝福)が与えられ、闇も辱めはずかしもあなた方の容貌ようぼうを覆い隠すことはないだろう。なぜならあなた方は自分のうちで樂園(幸福の地)の担い手となるからである。

28) あなた方が悪事をなせば、悪事もまた同じ程度にあなた方を見舞い、あなた方は辱めに覆われるだろう。そしてあなた方を庇護する者はだれもないだろう。なぜならあなた方の容貌はまるで真っ暗な夜の切れ端(闇の一部)に覆い隠されたかのように(まるであなた方が実在しないかのように)なるからである。

29) 真理はあらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧

告においてのみ与えられ、あなた方が崇拜する神々や偶像のうちにはないことを認識したら、公正(正義)があなた方を訪れると熟慮しなさい。あなた方が真理を知ったなら(意識したなら)、恥ずかしさに打ちひしがれるであろう。なぜならあなた方は偽りの預言者の邪な教えに従って神々や偶像を崇拜していたのだから。

30) あなた方が真理に精通して(知って)そのことを証明しようとするなら、証人として真理に呼びかけ、真理の印(証拠)をもって説明の言葉を語ることができる。これは神々や偶像によっては可能ではない。これらはその現存(実在)の印(証拠)を与えることができないからであるが、それというのも幻像(空想の産物)は力がなく、効用(成果)も損害ももたらすことができないからである。

31) 根源力(創造)の法則と勧告の真理において、あなた方は自分の思念と印象(感情)の働きから、そして自分の行動から生じるすべてのものを知ることができる。だからあなた方は条件(原因)から生じる帰結(結果)がどのようなものであるかを、自分が行動する前にも決定できる。したがってあなた方は何も改竄せず、またあなた方の考察(統制)において迷うことはないのである。

32) あなた方はひとえにあらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告の降雨(作用)によって地球から食物を得る。確かにあなた方は自分の目と耳を支配しているが、生けるものが産出され、農産物(植物)が繁栄する偉力を与えるのは根源力(創造)の法則と勧告のみである。なぜなら根源力(創造)の法則と勧告によって万物はそれぞれの種に応じて導かれるからである。それゆえあなた方は万物において、生存(人生)のあらゆる事柄において、あらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告に頼らざるを得ず、それなくして、そしてまたその降雨(作用)なくして呼吸(実在)できないのである。

33) すべての天空(宇宙)とすべての大地(世界/惑星)、そしてすべての生物種(生命形態)の範囲にある一切は、あらゆる英知の源泉(創造)の現存(実在)

であり、あらゆる英知の源泉(創造)そのものである。なぜならあらゆる英知の源泉(創造)はすべての内界とすべての天空の内界(宇宙意識)だからである。それゆえ誤謬に生きてはならず、あらゆる英知の源泉(創造)のみがすべての天空(宇宙)とすべての現存(実在)に発揮されたあらゆる偉力の中の偉力であるという真理をはねつけてはならない。すべての虚偽と不公正(不当)から、不誠実(良心的でないこと)から、すなわちあなた方を益することも害することもできない神々や偶像から離反しなさい(身を転じなさい)。

34) 真理に対する反抗者であってはならず、自らをあなた方と等しい者(人間)として確証しなさい。あなた方が自分自身の種(類)に名誉と尊厳を施すように。

35) あなた方がかねてよりことごとく虚構してきた(かねてより捏造してきた)すべての神々や偶像や悪霊の間では、何ものも生命または被造物(生き物/生物)または何らかの現存(実在するもの)を生み出し(創り出し)、それらを消滅させて再び生成させることはできないと熟慮しなさい。実に、あらゆる英知の源泉(創造)の法則と勧告のみがその降雨(作用)によってすべてを生み出し(創り出し)、消滅させ、再びよみがえらせるのである。実際、あなた方が虚構(捏造)された神々や偶像から離反しない(身を転じない)のはどうしてか問われなければならない。

【ご注意】 本誌に掲載した『真理の杯』第10章は暫定訳です。翻訳を進める段階で、訳文の見直しが行われることがあり、翻訳を完了した段階で、掲載内容が変更されている場合があることをご承知おき下さい。なお、原文については以下のサイトをご参照下さい。

<http://www.figu.org/ch/geisteslehre/kelch-der-wahrheit>

Q&A 質問と回答

□読者からの質問

親愛なるビリー

お話したように、マイケル・ジャクソンの死に関する私の質問を送ります。新しい特別公報で取り上げてもらえますか。よろしくお願いします。

何が原因でマイケル・ジャクソンは死んだのですか。その早すぎる死は、彼が成功のプレッシャーに苦しんでいたことと関係がありますか。それとも司法がけっして証明できなかった児童の性的虐待の非難に悩んでいたのですか。彼は精神的に崩壊したのですか。それについてメディアが公表しているよりも信頼できることを何か知っていますか。 敬具

ピウス・ケラー、スイス

□ビリーの回答

この質問には次の2009年6月14日の会見記の抜粋によって答えることができる。

ビリー：……予見した事柄で特筆すべきことはあるかね。

プター：……予見した事柄で重要なものを幾つか挙げると、たとえば「キング・オブ・ポップ」マイケル・ジャクソンは、今日から数えて11日後の6月25日に、麻酔剤カクテルの無責任で軽はずみな過剰投与によって心臓停止を招いて他界する。

ビリー：哀れな奴だ。あれほどの成功と財産を手に入れたのに困難な人生を送った。しかし彼が小児愛者で、児童を性的に虐待したという主張はいったいどうだったのかね。私にはどうしてもそうは思えないのだが。

プター：それは両親がでっちあげた卑劣な嘘以外の何ものでもない。彼らは自分の子供をマイケル・ジャクソンのもとに行かせて、卑劣なやり方で彼を裁判に訴え、金をせしめようとしたのだ。当時私は自分自身の関心からこの件について調べたが、主張はどれも事実と反し、すべてが金銭的な利益を得るた

めに考え出された嘘にすぎないことを確認した。自分で虐待されたと言っている子供たちは、両親から長い間嘘の話を刷り込まれ、しまいには本人が嘘を本当のことと信じ込むようになり、性的に虐待されたと主張したのだ。しかし私はそのような陵辱^{りょうじよく}は一度も行われたことがないと、はっきり断言できる。なぜならマイケル・ジャクソンは子供たちを何よりも愛しており、そのようなことをするはずもないからである。彼自身は本当の子供時代を体験したことがなく、父親によって無責任にも音楽や歌や成功のために子供時代を放棄することを強いられたのである。しかしあの子はそれを克服できずに、その本質において子供のままであり続けた。そのために彼は自分の回りに子供たちを集めては一緒にいろいろ遊んだが、それは常に清く、正しく、愛情に溢れたもので、性的虐待のようなことはけっしてなかった。つまりジャクソンという男は本質的に子供であり続け、非常に繊細で善良なうえ、現実とかけ離れているか、もしくはわずかしか接点のない自分だけの世界に生きていると夢想している。残念ながら彼の埋葬はすごい見世物になるが、それも一つの賞賛である。

ビリー：君の説明を聞いて嬉しく思うが、全体としては悲しい話であり、彼の死も悲しみを呼び起こす。多くの人々が本心から彼の死を悼むことは想像がつく。なぜなら彼の音楽と歌は、たとえポップとは言え、良いものだったからだ。それは何年も前から今日に至るまで巷間に溢れる他のポップとは根本的に違う。実際それらは途方もなく不調和な金切り声やわめき声や鳴き声以外の何ものでもなく、狼の咆え声の方がずっと調和が取れている。

プター：実に適切な言葉だ。今日年若い地球人が一般に音楽や歌と称し、若者たちが血道をあげているものにはまったく調和がない。君が言ったように、それは金切り声やわめき声や鳴き声にすぎず、そこには一切調和がない。あるのは若者を墮落させ、反社会的にする攻撃だけである。そのためある若者は人間の成果の野蛮な破壊者となり、変節者となって、思慮なく憎しみに駆られて、または単に快感や悪ぶざげから、同胞の肉体と生命を危険にさらし、それ

どころか重傷を負わせ、障害者になるほど殴り、あるいは死に至らしめる。実際、これに関しては歌や音楽と呼ばれているこれらの形態が占めるファクターは非常に大きく、耳障りなポップやこれに類するものが、若者の中に攻撃、反社会性、無責任、不品行、憎しみなどを助長している。君が言うように、今日歌や音楽と呼ばれているこのような形態の金切り声やわめき声や鳴き声によって地球人、特に子供や若者は社会の規範や徳や誠実な者に対する敬意をますます失っている。主としてきちんとした教育を受けておらず、もともと反社会的な変節の傾向のある若者が、それによって最初に悪や不良に染まり、そこ

から人間や法律や秩序に対する蔑視が生まれる。それは人種差別主義、急進主義、過激主義、テロリズムが生まれる要因でもある。他方、上にあげた音楽と称しながら、その実メロディーもない金切り声から正反対のものも生じる。すなわち、若者はそれによって恍惚状態に陥り、宗教家やその他の教派主義者によって宗教や神の信仰へと惑わされるのだ。実際に調和の取れた歌や音楽はほとんど作られず、稀に作られるとすれば、真に調和した音を好み、したがってそれに相応しい生活を送っている高齢の人間や演奏家によるものでしかない。

(出典：FIGU 特別公報 49 号)

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□ ボランティアスタッフの募集 □

フィグ・ヤーパンの活動は、現在 12 名のスタッフを含め、すべて自由意志による無報酬の活動として行われています。活動内容は、書籍やビデオ類の翻訳・校正・出版・複製、毎日の書籍・ビデオ類の注文受けと発送作業、3ヶ月毎の機関誌『フィグ・ヤーパン通信』の作成・発送作業、読者の皆様からのお電話やお便りへの返信、ホームページの作成と更新・管理、著作物の保護と違法使用に関する監視、読者集会や写真展等の開催等、多岐にわたっています。フィグ・ヤーパンのスタッフになると、上記の活動を分担して行うほか、ほぼ毎月行われている定例会議への出席、FIGU スイスに報告する議事録の作成と不定期の連絡対応等の作業が加わります。なお、これらの活動は FIGU-Landesgruppe JAPAN の会則に基づいて運営されています。

この度、フィグ・ヤーパンの活動をご支援いただけるボランティアスタッフを募集いたします。私たちとともに、フィグの活動をしてみませんか。新しい仲間の輪が広がることを、スタッフ一同心待ちにいたしております。

□ 『真理の杯』 翻訳出版ご支援のお願い □

フィグ・ヤーパンでは、FIGU スイスが各国語に翻訳すべき最も重要な書籍として翻訳を奨励している『真理の杯』の翻訳に取り組んでいます。現在、全 28 章の半分程度まで翻訳作業が進んでいます。

今年一杯をかけて、残りの章の翻訳と第二翻訳者による校正作業が行われる予定です。さらに、フィグ・ヤーパンによる校正作業を経て、翻訳の暫定版を順次インターネット等を通じて公開する予定です。

フィグ・ヤーパンでは、本書の翻訳活動を円滑に進めるため、読者の皆様からのご寄付を受け付けています。ご賛同いただけます際には、同封の郵便振替用紙をご利用の上、「真理の杯出版支援」とご記入下さい。ご協力をよろしくお願いいたします。

□ 第 10 回全国読者集会の予告 □

フィグ・ヤーパンでは、発足 20 周年となる 2011 年度に、第 10 回全国読者集会を開催いたします。読者の皆様に、印象深く有意義な体験をしていただくための各種企画を準備中です。内容につきましては、次回の本誌『フィグ・ヤーパン通信』において、ご案内いたします。どうぞご期待ください。

日 程

開催日：2011 年 6 月 19 日（日）

時 間：13：00～16：30 まで

（17：00～懇親会を予定）

会 場：日本青年館会議室

東京都新宿区霞ヶ丘町 7 番 1 号

電話 03 (3401) 0101

J R 総武線 信濃町駅または

千駄ヶ谷駅より徒歩 9 分

出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)
価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)
価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)
価格 2,000 円 (税込 送料別 395 グラム)
- 宇宙の深遠より—プレアデス／プレヤール人とのコンタクト
価格 3,000 円 (税込 送料別 765 グラム)
- 心
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- 瞑想入門
価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(文芸社刊)
価格 2,400 円 (税込 送料別 845 グラム)
- アラハト・アテルサータ
価格 2,800 円 (税込 送料別 700 グラム)
- 生命の哲学
価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声
価格 各 1,000 円 (税込)
83/1 号(特集) (送料別 140 グラム)
83/2 号(特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号(特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号(特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 霊と肉体における生
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- ビリーの少年時代の著作
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 預言者エレミヤとエリヤの予告
価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 『瞑想入門』の手引き
価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 『連想／真理の杯』(DVD:FIGU-JAPAN講演会2009ビデオ)
価格 3,000 円 (税込 送料別 94 グラム)

※このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 290 円
100 グラムまで 140 円	1000 グラムまで 340 円
150 グラムまで 180 円	2000 グラムまで 450 円
250 グラムまで 210 円	3000 グラムまで 590 円

※4,000 円以上お買い上げの場合、郵送料は無料です。

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 45 号 (無料)

発行日 2011 年 1 月 1 日
 発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-Landesgruppe JAPAN)
 住所 〒192-0916
 東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305
 電話 042 (635) 3741
 FAX 042 (637) 1524
 URL <http://jp.figu.org/>
 E-mail info@jp.figu.org
 郵便振替 00160-4-655758
 加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製すること、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2011 by FIGU-Landesgruppe JAPAN. All rights reserved.